

2016年度 年間指導計画(大阪府立守口東高等学校)

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
公民	現代社会	2	1	最新現代社会 (実教出版)	新詳高等地図

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における様々な現象(出来事)の繋がりを理解し、主体的に考える力を養う ・政治・経済・社会・文化など社会科学に関する豊かな教養を身につける ・主権者として自分で考え、自分で行動できるための能力を身につける
到達目標に向けての具体的な取組(指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的で身近な出来事・事例を精選して、疑問・興味・関心を持たせ教科書をもとに、基礎基本を押さえながら発展的学習もめざす

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	地球環境問題	・便利な日常生活の裏側にはどのような環境・資源問題があるのかを考え、学習する。	受講状況の観察
5月	資源・エネルギー問題	・生命の大切さ・脳死と臓器移植について現実にはどのような問題があるかに興味を持たせ、学習する。	中間考査
6月	生命科学と情報技術の課題	・日常生活において自分らしさとは何か?を考え、高校生活をより良くする為の学習を行う。	プリント提出
7月	自分らしく生きる 人間としてよく生きる 日本人としての自覚	・日本人の伝統的な自然観や倫理観はどのように形成されたのかを知り、学習する。	期末考査
8月			
9月	現代の経済社会	・租税・社会保障など制度を学習する。	受講状況の観察
10月	日本経済の特質と 国民生活	・経済の基礎的な知識を学習し、現在の問題点を理解する。未来への展望・主権者としての関わり方を学習する。	中間考査
11月	現代国家と民主政治	・法の意義と役割・民主政治の仕組みと課題を中心に学習する。	プリント提出
12月	日本国憲法の基本的 性格	・憲法の位置付けと国民の権利を整理出来るように学習する。	期末考査
1月	日本の政治機構と 政治参加	・政治機構の全体像をつかみ、主権者としての権利を自覚する。	
1月	国際社会と人類の課題	・主権・領土・国際社会のルールを学習	受講状況の観察
2月	国際政治の動向	・日本はグローバル化する世界の下、どのような国際協調をしていくべきか?また何ができるのかを考えさせる。	プリントの提出
3月	国際経済の動向と国際 協力	・国際経済の進展が私たちの日常生活とどう繋がっているのかを意識し、学習する。	学年末考査

2016年度年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地歴	日本史B	2	2	高校日本史B (実教出版)	

到達目標	今日の日本社会の基礎である原始・古代から中世にかけての歴史の変遷を、国家の成立・発展、社会体制の変化に注目させながら学習する。政治・経済・社会・文化の各方面の発展過程の歴史認識を養う。 歴史探求の基本的な方法をそのつど「史料」も活用し学ぶ。また身近なテーマで、生徒の興味関心に沿い、生徒の主体性を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	史実の知識を習得・蓄積するため、テストによる学習の習慣づけとともに、歴史認識とその認識の上に立った歴史観の育成のための、基礎知識の定着をはかる。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	文化の形成	※ 縄文時代の社会の発展と農耕文化への移行	受講状況の観察 プリント提出 中間考査
5月	邪馬台国と小国の分立	※ 統一国家の形成過程 中国の文献史料の活用と歴史探求の基本的な方法の獲得	
6月	古代国家の形成	※ 大化の改新を通じて法治国家への移行を考	受講状況の観察 プリント提出 期末考査
7月	平城京と律令体制	※ 律令制度のなかでとりわけ、税制の基本を学	
8月	国家仏教と天平文化	※ 律令政治の閉塞状況の中での国家仏教の果たした意味を考える ※ 奈良後期の数々の政変のなかから、藤原氏の政治独占が進められたことを学ぶ ※ 荘園を足場とした武士集団の形成と政権奪取の過程	受講状況の観察 プリント提出 中間考査
9月	奈良時代の社会と政治		
10月	平安初期の政治と文化		
11月	摂関政治と国風文化	※ 荘園を足場とした武士集団の形成と政権奪取の過程	受講状況の観察 プリント提出 期末考査
12月	中世社会の形成と鎌倉幕府		
1月	中世社会の展開	※ 武家政権の成熟と後の下剋上の社会へと発	受講状況の観察 プリント提出 学年末考査
2月		展	
3月		※ 農業生産力の発展と庶民の台頭の意味	

2016年度年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地歴	日本史	3	3	高校日本史B	

到達目標	近世から近代・現代の日本の歩みを学習する中で、政治・経済・社会・文化の歴史認識を養うとともに、世界の中の日本というグローバルな視野で歴史をとらえる力と今後の日本の発展・役割等と日本国民としての責任・貢献等を考える資質を養う
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	史実の知識を習得・蓄積するためのテスト学習の習慣づけとともに、練習問題によって知識の整理・定着を図るとともに、歴史上の人物の生きざまを学ぶことによって、歴史への関心を高め、自分の生き方を歴史に学べるようにする。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	統一政権の成立	織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の統一事業の違い	受講状況の観察 課題の提出
5月	幕藩体制の展開	江戸幕府の基本機構	中間考査
6月		元禄・正徳の政治について	期末考査
7月		江戸の三大改革について	
8月	大日本帝国の形成	開国と明治維新 幕末の社会変動	受講状況の観察 課題の提出
9月	大日本帝国の展開	地租改正と富国強兵	中間考査
10月		大日本帝国憲法の制定 民権運動と国会開設運動 条約改正 朝鮮の植民地化	
11月		第一次世界大戦 普通選挙法と治安維持法	
12月			
1月	大日本帝国の展開（続き）	満州事変と「満州国」 太平洋戦争	課題の提出
2月			学年末考査
3月			

平成28年度 年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地歴	世界史B	3	2	世界史B(東京書籍)	なし

到達目標	先史から17世紀までの人類史の変遷の学習を通じて、人類のあゆみ・ものごとの起源・社会のしくみを理解する。特に、時間と空間を軸に歴史の展開と世界の多様性を理解し、現代を生きることの意味を主体的に捉えられるようにする。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の基本的事項や知識を確実なものとする。 ・世界の政治・文化の歴史や変遷を理解する。 ・教科書・資料集を用い、科学的根拠に基づいた合理的な思考力の獲得を目指す。 ・学習を通じて、多様なものの見方や考え方を理解する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	序章 地球と文明のはじまり	1, 人類の出現と文明の誕生：人類の出現	各考査の評価と共に、課題の提出や普段の授業への取り組み方を併せて評価する。
5月	第1部 文明と地域世界の形成	2, 西アジア・地中海世界：オリエント世界と地中海世界、エジプト・メソポタミア・ペルシア・ギリシア・ローマ帝国	
6月		3, 南アジア世界の形成：インド文明	
7月		4, 東アジア・内陸アジア世界の形成：中国文明・中国社会の発展、律令国家、内陸アジア遊牧民の生活	
8月	第2部 諸地域世界の交流と再編	1, イスラーム世界の形成と拡大：イスラーム世界の形成。アラブ帝国・イスラームの諸王朝、イスラームの諸文化	同上
9月		2, ヨーロッパ世界の形成と変動：ビザンツ帝国と東ヨーロッパ世界、西ヨーロッパ世界の形成、ヨーロッパ世界の変動	
10月		3, 内陸アジア世界と諸地域世界：内陸アジア諸民族と宋、モンゴル帝国の興亡、ユーラシア諸地域の交流と再編	
11月 12月			
1月	第3部 諸地域世界の統合と変容	1, アジア諸地域世界の繁栄と成熟：明と清の繁栄、東アジア諸国の発展、東南アジアの大航海時代	同上
2月	第7章～第8章	2, ヨーロッパの拡大と大西洋世界：ルネサンス、大航海時代、宗教改革、近代主権国家の成立、東方の大国	
3月			

2016年度年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地歴公民	世界史B	2	3	世界史B(東京書籍)	なし

到達目標	18世紀以降の近代社会の形成および西欧諸国の世界進出を基礎として現代の社会がいかに形成されたかを見る。現代の社会を複眼的にみる歴史的思考力を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史上の基本事項を着実に理解する。 ・世界を一体として捉え、自らの社会に関連づける力を養う

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月	第9章 産業社会と国民国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・近代を画期づける産業革命をイギリスを中心に学習する ・アメリカ・フランスの市民革命をへて、ヨーロッパで国民国家がどのように誕生したか学習する。 	考査の点数と平常点を加味する
6月 7月	第10章 世界市場の形成とアジア諸国	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの海外進出 ・西欧諸国の植民地形成を学習し、アジアの諸地域の後世への影響をみる ・また、植民地支配に対するアジア諸地域の反応を地域ごとにみる 	
8月 9月	第11章 世界の分割	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義の隆盛と世界の一体化が進んだ結果、世界はどのように変容したのかを学習する。 	同上
10月 11月 12月	第12章 二つの世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀末からの国際関係の変化の学習を基礎に第一世界大戦を学ぶ。 ・戦間期ヨーロッパの復興とアジアの民族運動を学習する。 ・世界恐慌から第二次世界大戦にいたる過程を学ぶ。 	
1月 2月 3月	第13章 戦後世界の形成と変容	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦による世界の分断と様々な国際協定の取り組み、新たな紛争の原因を複合的に学ぶ。 	同上

平成 28 年度 年間指導計画(大阪府立守口東高等学校)

教科	科目	単位数	指導学年	使用教科書	副教材等
公民	政治・経済	3	3	政治・経済(実教出版)	

到達目標	市民社会成立の歴史的経緯を理解し、現代社会において生きていく力となる政治、経済、国際関係などの知識を獲得し、それらに関する諸課題について自ら考え、判断する力を培い、民主国家の公民として必要な能力と態度を身につける。(学習指導要領)
到達目標に向けての具体的な取り組み(指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・政治経済に関する基礎的知識を獲得する ・日本及び世界についての基本的事項や知識を確実なものにする ・日本国憲法について深く学び、かつ自ら考える基礎とする ・時事問題について、学習内容と関連付けること、自らのイメージを持つことを意識する ・教科書等を用い、様々なものの見方考え方に触れ、科学的・客観的な見方や考え方についての理解を目指す

	単元	学習内容	評価方法
4月	序 政治経済を学ぶこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「一般教養的」知識の確認・新聞等マスメディアの活用方法について 	受講状況の観察 課題提出
5月	① 現代国家と民主政治		
6月	② 日本国憲法	<ul style="list-style-type: none"> ・自然権の把握と社会契約の本質を理解する。 ・日本国憲法の基本原理を基礎に、その意義について学習する。 	中間考査
7月	③ 日本の政治機構		
8月	④ 日本の平和主義と国際平和	<ul style="list-style-type: none"> ・三権分立と其々の権能について学習する。 ・平和主義の意義と国際紛争について学習する。 ・戦後国際政治の大きな流れを学習する。 	期末考査
9月	⑤ 現代の国際政治		
10月	⑥ 経済社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の本質を学習する。 ・経済の基本的な仕組みと役割を学習する。 	受講状況の観察 課題提出
11月	⑦ 現代経済の仕組み		
12月	⑧ 現代の日本経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の暮らし、環境、社会保障や労働問題について学習する。 ・経済活動と競争、枠組み、国家の役割について学習する 	中間考査 期末考査
1月	⑨ 現代の国際経済		
2月	現代社会の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞等メディアの報道から情報と情勢を読み解く方法を学ぶ。 ・地域について学ぶ。 	受講状況の観察 課題提出 学年末考査
3月			

2016年度年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地歴	地理B	3	3	新詳地理B 新詳高等地図	基本白地図 最新版

到達目標	地理的な感覚・常識の発達を目指し、それにより世界の中の日本という国際的な感覚の基礎を育成する。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	地理的感覚を磨くため、地図帳や白地図を多用して理解を助ける。 活動を中心とし、気付いたことや感じた疑問から授業を展開する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月 5月 6月 7月	地理の学習スキル 系統地理	<ul style="list-style-type: none"> 経度や緯度を使って、地球上の位置を確認する技能 時差を計算する技能 目的によって使い分けられる地図 川・海・氷・地球内部の力でできる地形 世界の気候 	<ul style="list-style-type: none"> 中間及び期末テスト プリント等の提出 受講状況の観察
8月 9月 10月 11月 12月	系統地理 地誌	<ul style="list-style-type: none"> 世界の気候 農業 西アジアの地誌 中南米の地誌 世界の諸地域の地誌に関する調べ学習 	<ul style="list-style-type: none"> 中間及び期末テスト プリント等の提出 受講状況の観察
1月 2月 3月	現代世界の諸地域と 近隣諸国の調査	<ul style="list-style-type: none"> 民族問題・領土問題 	<ul style="list-style-type: none"> 学年末テスト プリント等の提出 受講状況の観察

2016年度年間指導計画（大阪府立守口東高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
公民	倫理	3	3年	高等学校倫理(数研)	使用せず

到達目標	先哲の思想に触れ現代に生きる力を培う。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> 先哲の思想に関する説明を行う テーマに関する自分の考えをまとめる 理解内容を文章によって表現する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	第1編 現代に生きる 自己の課題	<ul style="list-style-type: none"> 人間とは何か、自我のめざめ 	考査 授業態度
5月	第2編 人間としての 自覚	<ul style="list-style-type: none"> 古代ギリシャ思想 三大宗教（キリスト教・イスラム・仏教） 古代中国の思想（諸子百家） 	課題
6月			
7月			
8月	第3編 現代に生きる 人間の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ルネサンス・宗教改革 西洋近代の思想 イギリス経験論、大陸合理論、 自然権と社会契約 カント哲学、ドイツ観念論 功利主義、実存主義、政治思想、 経済思想 現代の思想 プラグマティズム、精神分析学、 構造主義 	同上
9月			
10月			
11月			
12月			
1月	第5編 現代の諸課題と 倫理	<ul style="list-style-type: none"> 生命倫理、環境問題、家族のあり方 情報社会の功罪、他文化・他宗教へのま なざし、国際平和など現代社会にまつわ る諸問題を主体的に考察する。 	授業時に課す課題 考査
2月			
3月			